

No. 14 いすみ鉄道利用増進と道の駅について（平成 30 年 7 月受付）

内容	いつもお世話になっております。 まずいすみ鉄道利用増進の件ですが、まず露出が必要です。いすみ鉄道やおたっきーのグッズを作るのに権利使用料みたいな、単価の数%という物を無くしてほしいです。作る気が無くなって、商品が生まれません。 大多喜町の人なら無料で登録のみで作れば、商品が生まれて、全国にアピールする人が沢山できます。露出が増えて、観光客が増えます。プロ野球やプロサッカーなども地元には無料チケットを配りまくって、観客数を増やしてブランドを高めております。 弊社がいすみ鉄道のプラスチック模型（白）みたいな物を作って小中高学生や一般人や全国の人に絵やデザインをしてもらい、コンテストをして、優勝した作品を実際、電車に書いて運行させれば、かなりインパクトがあると思います。 道の駅についてですが、今回弊社の商品が大多喜町推奨品じのものに選ばれて、扱って頂こうと思っておりますが、断られました。お話を聞くと食べ物以外は売れないからスペースを縮小する意見で長野のリングがばか売れだーと喜んでいましたが、大多喜の道の駅がその考えで良いのでしょうか？長野のリングはセブンイレブンのようなコンビニやオリブのようなスーパーに任せて、道の駅は大多喜町の物を扱った方が良いと思います。生産者は売れるものを作って、販売員は大多喜町の物を売するという方法が良いと思います。 大多喜町名物や産業はダメだからやらないでは無く、良くなるように育てることが重要で、いきなり名物や産業はできません。よってじのものコーナーを作ったり、大多喜町が推奨する物に対して全力で応援しないと何の為の道の駅や推奨品じのものか分かりません。見栄えばかりの
----	--

	形だけでなく、中身が重要です。 もっとワンダーな事やインパクトがある事を固定概念を無くしてハチャメチャして下さい。 よろしくお願い致します。
回答	始めにいすみ鉄道利用増進の件について回答いたします。いすみ鉄道では、過去にグッズの製作・販売に対し、権利使用料等を取るような案件はないとのことであり、今後も使用料の有無については、個別の案件により判断することになるということです。 また、町のシンボルキャラクターおたっきーのデザイン等使用料については、「大多喜町シンボルキャラクターデザイン等の使用に関する要綱」が定められており、収益目的でなければ無償となっています。また、有償の場合であっても、公共的団体が公益的な活動に使用する場合や町のイメージアップ効果が期待できる場合等は使用料の免除措置が設けられています。おたっきーも作製より7年目を迎え、今後益々おたっきーを活用した町のPRやイメージアップを図っていかねばならないと考えておりますので、デザイン等使用料については、今後近隣の状況等を確認しながら検討していきたいと思います。 今後もいすみ鉄道の活性化及び利用増進を図るためには、ご提言されるように、更に対外的な露出やブランド力を高めることは有効な手段であると考えます。現在では、いすみ鉄道がメディア等に取り上げられる機会が増え、町の重要な観光資源ともなっています。利用客の状況も、平成26年度以降、定期客が逡減しているなかで、全体客数としては普通旅客の割合が高くなっています。 ご提言いただいた内容についても、いすみ鉄道に情報提供させていただき、地域に愛される鉄道として地元、鉄道、町が連携を図るなかで、

民間の方や企業の皆さまのご提言とご提案をいすみ鉄道の活性化につなげていきたいと考えております。

いすみ鉄道については、依然として厳しい経営状況が続く中で、経営としては鉄道と町が各々の役割において責務を果たし健全経営を目指しているところでございますので、今後とも、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次に道の駅の件について回答いたします。道の駅たけゆらの里おおたきは、大多喜町都市交流センターとして都市と農村の交流を目的とし、町内の農産物や特産品の紹介及び販売並びに農産物及び加工品を使った郷土料理を提供する施設として設置されました。

現在、大多喜町都市交流センターは、指定管理者制度を活用し、「有限会社たけゆらの里大多喜」がこの施設の管理及び運営しておりますので、商品の取扱いについては、「有限会社たけゆらの里大多喜」と協議していただくようお願いいたします。